

平成 26 年度
小型電子機器等リサイクルシステム構築実証事業運営業務
(東北地方その 5)

報 告 書

平成 27 年 3 月

環境省東北地方環境事務所

(契約者) 株式会社エフアイティフロンティア

目 次

I. 実証事業の目的	1
II. 実証事業の実施概要.....	1
1. 全体計画	1
2. 使用済小型電子機器等の回収及び運搬.....	5
3. 中間処理、有用金属の回収.....	6
4. 検討する課題.....	7
III. 実施内容	9
1. 実施地域の概要.....	9
2. 回収期間	9
3. 回収方法	9
4. 住民への周知.....	17
5. 回収状況	31
IV. 実証事業における協議会について.....	40
V. 考察	42
1. 検討する課題に対しての考察.....	42
2. その他の考察.....	44

I. 実証事業の目的

「使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律」（以下「小型家電リサイクル法」という。）が平成 25 年 4 月から施行されたことを受け、環境省、経済産業省及び地方公共団体においては、家庭から排出される使用済小型電子機器等（デジタルカメラ、ゲーム機等）の回収のための体制整備を順次行うこととしている。このため、本業務は、住民から排出される使用済小型電子機器等を効率的に回収する方法を検討することを目的とし、環境省が公募した平成 26 年度「小型電子機器等リサイクルシステム構築実証事業」（市町村提案型）において採択を受けた地域（福島県福島市）を対象として、実証事業を行うものである。なお、本業務では、小型家電リサイクル法に基づくリサイクルシステムの構築及び更なる改良のための試験研究を想定していることから、実施に当たっては、廃棄物の処理及び清掃に関する法律を遵守するとともに、小型家電リサイクル法及び基本方針、使用済小型電子機器等の回収に係るガイドライン並びに小型家電リサイクル法に係る再資源化事業計画の認定申請の手引きに準用した運用を図ることとする。

II. 実証事業の実施概要

1. 全体計画

（1）背景及び目的

福島市は、福島県の中通りの北部に位置し、明治 40 年 4 月の市制施行により誕生した。

福島市では、平成 10 年に良好な環境の保全及び創造に関する基本理念や基本的施策の方向性を示した「福島市環境基本条例」を施行、平成 23 年 3 月には「福島市環境基本計画」を策定し、市民、事業者及び自治体が一体となって、環境保全及び創造のための施策を総合的かつ計画的に推進している。

また、平成 26 年 8 月に「福島市一般廃棄物処理基本計画」を策定し、環境への負荷を軽減し、未来へつなげる循環型社会の実現を目指している。

福島市一般廃棄物処理基本計画の基本方針において、①廃棄物の発生抑制、再使用、再生利用を基本とした 3 R 運動推進による循環型社会、②廃棄物の適正処理の推進による安全で快適な生活環境の確保、③市民・事業者・行政の協働による環境保全を掲げており、今般、使用済小型電子機器等のリサイクルに取り組むことにより、福島市の目指す 3 R 推進のため、資源の有効活用とリサイクル率の向上、廃棄物減量化の推進や、市民・事業者の環境保全への意識高揚を図る。

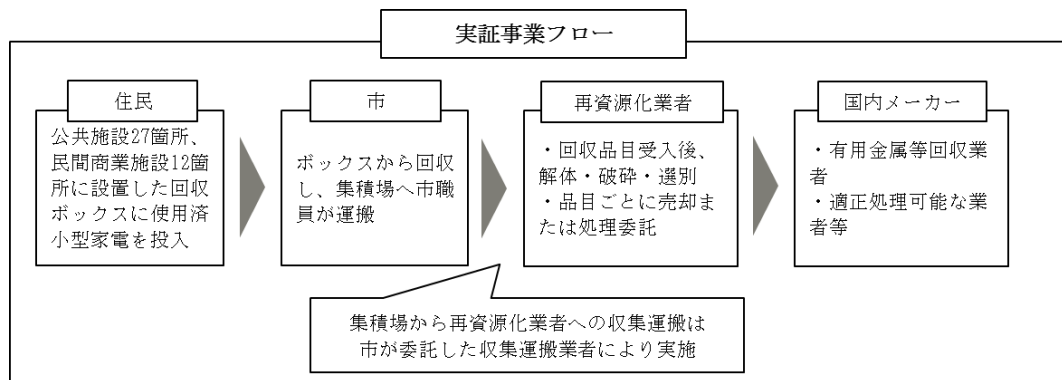
また、実証事業を通じて、事業の実施における課題や問題点の解決、より良い回収方法等の確立を図り、効率的かつ回収量の増加が見込まれる回収体制を構築することとした。

(2) 回收対象市町村

実証事業は福島市内全域で行うこととした。

福島市内の市役所・支所、学習センターなどの公共施設 27 箇所と、スーパーやホームセンターなど民間施設 12 箇所の合計 39 箇所に回収ボックスを設置することで福島市全域を網羅し、さらにイベント回収を検討する。

(3) 回收体制



上記フローのとおり回収体制を構築する。

①市民

市民は、市が指定する使用済小型電子機器等で、回収ボックスの投入口に入る大きさの品目を、公共施設 27 箇所及び民間施設 12 箇所に設置した回収ボックスに投入する。

また、ボックス回収以外にも、イベントでの回収を実施する体制を整備することで、市民の利便性の確保を図る。

なお、投入時は、個人情報削除の上、投入するよう周知を行う。

②市

市は、あらかじめ使用済小型電子機器等を市内 39 箇所で回収するようになったことを周知・広報する。

また、集まった使用済小型電子機器等について、回収ボックスからの回収と分別を行い、市内 2 箇所の集積所へ運搬する。

その際、個人情報が含まれているもの（携帯電話端末、PHS 端末及びパーソナルコンピュータなど）は、特に分別徹底のうえ、厳重な管理のもと回収する。

③収集運搬業者

市が回収した回収品目を集積所から再資源化業者まで運搬する。

集積所で引き渡した回収品目の再資源化業者への運搬は、適切な個人情報管理が可能な業者に委託する。

④再資源化業者

再資源化業者は引き渡した回収品目の種類・数・重量等を確認し、品目ごとに中間処理を行うまでの間、適正に管理する。

その後、再資源化業者は解体等の中間処理を行って部品ごとに分類し、国内メーカー（有用金属回収業者に売却または適正処理可能な業者に処理を委託）を選択する。

なお、個人情報が含まれているものについては、セキュリティエリア内に保管し、破砕等により個人情報を消去するなどの管理をする。

⑤連絡体制

市と再資源化業者・収集運搬業者等の本事業関係者は、定期的に本実証事業の現状、課題等について意見交換するとともに、随時連絡調整等を行えるような体制を整備する。

（４）目標回収量

今回の実証事業においては、ボックス回収とイベント回収を実施し、「使用済小型電子機器等の回収に係るガイドライン」に定める特定対象品目から回収対象を選定していること、実証事業を通じての市民への周知・啓発途上であることを踏まえ、対象人口 283 千人に対し、約 17t/年を目標とする。

（※国の目標値 1 人あたり 1kg/年をもとに、ボックス回収率を 5%、イベント回収率を 1%と想定して算出）

なお、将来的には、今回の実証事業結果を踏まえた回収品目の拡大、回収方法の多様化、回収範囲の広域化などを図ることにより、国の目標値である一人当たり 1kg/年を目指す。

(5) 連携予定業者

本事業の実施に当たっては、福島県伊達市の再資源化業者である株式会社エフアイティフロンティア（富士通東日本リサイクルセンター）と連携する。

同社は、福島県産業廃棄物処分業・収集運搬業、伊達市一般廃棄物処分業・収集運搬業の許可のほかに、ＩＣＴ機器の広域産業廃棄物処分業・収集運搬業、使用済家庭系パソコンの広域一般廃棄物処分業の許可を有しており、廃棄物処理に関する知識及び技能を十分に備えている。

さらに、ＩＣＴ機器の処分業（家庭用ＰＣ，業務用機器等が対象）が主要業務であり、24 時間体制の警備システムや適切な社員教育、個人情報が含まれると思われる部品の物理的な破壊など、ソフト面、ハード面含め、トータルとしての個人情報保護対策について精通している。

また、同社は使用済小型電子機器等の再資源化事業計画の認定申請中であり、使用済小型電子機器等の処理体制が確立されていることから、適正な再資源化が見込まれ、海外等での不適正処理につながるおそれもないと考えられる。

同社との連携により、適正な再資源化処理の確立を目指すとともに、福島市を含めた県北地方の業者の新規事業展開による地域活性化、雇用創出効果も見込まれる。

(6) 実証事業で作成・実施する啓発活動

- ①回収ボックス
- ②啓発用のぼり旗
- ③啓発用看板
- ④啓発用ポスター
- ⑤啓発用チラシ
- ⑥ごみカレンダー
- ⑦啓発用エコバック
- ⑧啓発用缶バッジ
- ⑨啓発用ポケットティッシュ
- ⑩新聞広告

2. 使用済小型電子機器等の回収及び運搬

(1) 回収対象品目

使用済小型電子機器等の回収に係るガイドラインに定める特定対象品目のうち、以下に記載するものとする。

福島市指定品目

1	携帯電話端末・PHS 端末、パーソナルコンピュータ（モニターを含む） ※これらには、タブレット型情報通信端末を含む。 なお、パーソナルコンピュータのうち、デスクトップ、タワー型はイベント回収のみ
2	電話機、FAX
3	ラジオ
4	デジタルカメラ、ビデオカメラ
5	映像用機器 （DVD-ビデオ、HDD レコーダ、BD レコーダ/プレーヤ、ビデオテープレコーダ(セット)、チューナ、STB)
6	音響機器 （MD プレーヤ、デジタルオーディオプレーヤ(フラッシュメモリ)、デジタルオーディオプレーヤ(HDD)、CD プレーヤ、デッキ除くテープレコーダ、IC レコーダ、補聴器)
7	補助記憶装置 （ハードディスク、USB メモリ、メモリーカード)
8	電子書籍端末
9	電子辞書、電卓
10	ゲーム機 （据置型ゲーム機、携帯型ゲーム機、ハンドヘルドゲーム(ミニ電子ゲーム)、ハイテク系トレンドトイ)
11	カー用品 （カーナビ、カーチューナ、カーステレオ、カーラジオ、カーCD プレーヤ、カーDVD、カーMD、VICS ユニット、ETC 車載ユニット)
12	これらの附属品 （リモコン、AC アダプタ、ケーブル、プラグ・ジャック、充電器等)

（２）回収方法・回収頻度

回収方法は、公共施設及び民間施設に設置した回収ボックスに、指定する対象品目を直接投入する方法とする。

公共施設においては、市役所・支所に設置することにより市内全域を網羅するほか、土日も開館している各地区の学習センター等に設置する。

さらに、大型スーパー、ホームセンター等の民間施設にも設置することにより、市民の利便性・回収効率の確保を図る。

回収ボックスの設置場所は、指定する公共施設及び民間施設の建物内とし、市民の目に触れやすい場所に設置する。

また、市民への意識向上を狙ったイベントを開催し、不法投棄されるおそれがあるＰＣ（デスクトップ型）やモニター（電子計算機用）を回収することで地域の課題解決を図る。

回収頻度については、市職員が各ボックスから月１回を目安に適時とし、物量が増えた場合には臨時回収を行う。また、実証事業期間中、イベントでの回収を１回実施し、回収頻度を上げる。

３．中間処理、有用金属の回収

（１）再資源化業者による中間処理

回収品目の中で有害性や危険性のある物質が含まれているもの（蛍光管、トナーカートリッジ、フロン類、ガスボンベ、密閉型蓄電池、乾電池等）を取り除く。フロン等を含有する機器については、無害化処理を行う。

また、個人情報情報を保有する機器は情報を破壊する。その後、手分解・機械破砕等により処理を行う。

処理された資源は、鉄系産物、アルミ系産物、銅系産物、モーター類、非鉄金属系産物、ガラス類、木くず、プラスチック系産物等として分別し、素材ごとに保管する。

その後、品目に応じ、精錬事業者等の適正処理が可能な業者に引渡す。

なお、上記に分類できない金属等が混在している廃プラ類等は、適正処理が可能な業者に処理を委託する。

（２）有用金属等の回収

- ①再資源化業者で回収された密閉型蓄電池は、非鉄製錬業者でニッケル、コバルト等の有用金属を回収する。
- ②再資源化業者で回収された鉄系産物は、スクラップ業者に引き渡し破碎減容後に、製鉄（電炉メーカー）業者にて鉄として回収する。
- ③再資源化業者で回収されたアルミ系産物は、アルミニウム精錬業者にて溶融・精製され、アルミニウムとして回収する。
- ④再資源化業者で回収された銅系産物は、破碎・選別され、非鉄精錬業者にて銅として回収する。
- ⑤再資源化業者で回収された非鉄金属系産物（基板等）は、貴金属精錬業者にて貴金属（金、銀、パラジウム等）を回収し、非鉄製錬業者にて銅やレアメタル等の有用金属を回収して再資源化を行う。

※上記（１）、（２）のとおり、引き取りから処分が終了するまでの一連の行程を明確にすることで、品目ごとの再資源化、適正処理の確実な実施を図るとともに、海外等での不適正処理を防止する。

４．検討する課題

（１）市民への動機付けと回収量の増

従来、プラスチック、紙などの資源物は最寄りのステーションに決められた日の朝に市民が持っていくという流れであるのに対し、使用済小型電子機器等は回収ボックスに市民が持っていくという新たな回収システムになる。そのための動機付けをするのがひとつのポイントと考え、実証事業開始前から、市政だより、市のホームページなど市が持つ広報媒体、新聞広告等により広報を実施する。

また、福島市は他自治体に比べて多くの支所等の出先機関を有しているため、回収ボックスをそれら出先機関などに幅広く設置することにより、高齢者も排出しやすい環境を創出し、回収量の増を図る。

（２）複数市町村の共同回収・引渡しの検討

本事業の連携予定業者は、福島市以外にも近隣自治体と実証事業を推進する予定であり、同一の再資源化業者と連携することで、収集運搬の効率化、地元業者の安定的な処理継続が可能となるため、複数市町村（広域）での共同回収の実施を視野に入れて本事業を実施する。

(3) 市町村の回収品目の拡大検討

今回の実証事業では、市民への意識向上を狙ったイベントを開催し、回収ボックスに加え、不法投棄されるおそれがあるPC（デスクトップ型）やモニター（電子計算機用）を回収することで回収品目の拡大、地域の課題解決を図る。

(4) 市町村の回収コスト削減や効果的な仕分け・引渡しに関する検討

本事業において、県北地方の再資源化業者と連携することで、再資源化施設への運搬距離の短縮による物流コストの削減を図る。

また、集積所への保管には、再資源化業者指定の回収コンテナを使用することで、積み替えのない効率的な仕分け・引渡しを実施する。

(5) 退蔵された低品位使用済小型電子機器等の排出促進のための回収方法の検討

低品位使用済小型電子機器等が退蔵される原因としては、処分が有償の場合があること、サイズが大きく重いため、運びにくいことなどが考えられる。また、これらは不法投棄されるおそれもある。

今回の実証事業では、市民への意識向上を狙ったイベントを開催することで、退蔵された使用済小型電子機器等の排出を促進する。

Ⅲ. 実施内容

1. 実施地域の概要

実証事業の実施地域である福島県福島市の概要は下表のとおり。

福島市の人口・世帯数・面積・人口密度

地域	人口*	世帯数*	面積	人口密度
福島県福島市	283, 141 人	116, 037 世帯	746. 4 km ²	379. 3 人/km ²

*人口・世帯数は福島市発表の平成 27 年 2 月 1 日推計値による

2. 回収期間

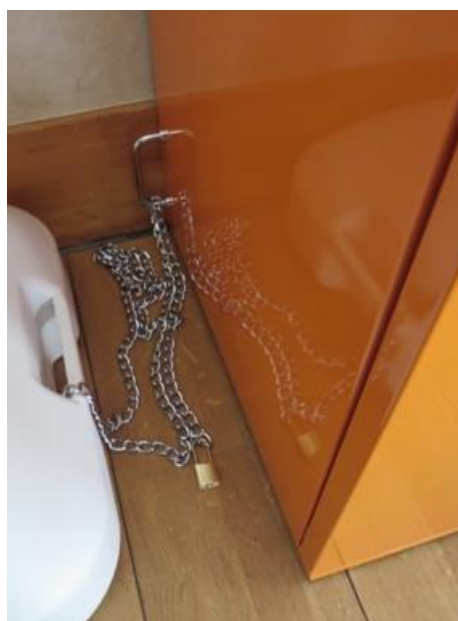
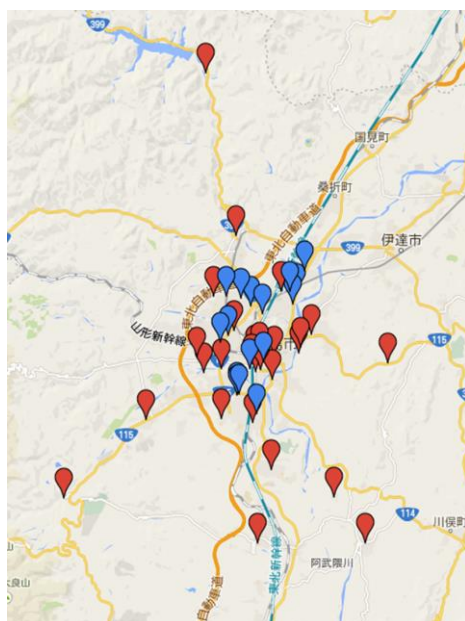
本実証事業における回収期間は平成 27 年 2 月 2 日から平成 27 年 2 月 28 日とした。

3. 回収方法

(1) ボックス回収

- ・設置場所は福島市内の公共施設 27 箇所及び民間商業施設 12 箇所とした
- ・公共施設に設置することで市内全域をカバーし、民間商業施設に設置することで市民の利便性を確保した
- ・なお、回収ボックスの投入口の大きさを超える対象品目は、イベント回収で回収するように呼びかける
- ・回収ボックス付属のフックにチェーンと南京錠を連結させることで、回収ボックスの盗難防止を図った（公共施設 4 箇所、民間商業施設 1 箇所で対応）

※赤：公共施設、青：民間商業施設



回収ボックス設置場所

	施設名	住所
公 共 施 設	福島市役所（本庁舎）1階エントランス	福島市五老内町3番1号
	福島市役所（本庁舎）西入口付近	福島市五老内町3番1号
	福島市役所（本庁舎）6階	福島市五老内町3番1号
	あぶくまクリーンセンター	福島市渡利字梅ノ木畑1-1
	あらかわクリーンセンター（プラザエントランス）	福島市仁井田字北原1-1
	あらかわクリーンセンター（プラザ2階）	福島市仁井田字北原1-1
	あらかわクリーンセンター（台費付近）	福島市仁井田字北原1-1
	渡利支所	福島市渡利字舟場7-1
	杉妻支所	伏拝字台田1-1
	蓬莱支所	蓬莱町四丁目1-1
	清水支所	泉字大仏4-3
	東部支所・もちずり学習センター	岡部字高畑46
	大波出張所	大波字滝ノ入48
	北信支所・北信学習センター	鎌田字中江1
	吉井田支所・吉井田学習センター	仁井田字西下川原1-1
	西支所・西学習センター	上名倉字妻下4-2
	土湯温泉町支所	土湯温泉町字上ノ町9
	信陵支所・信陵学習センター	笹谷字オノ神1
	立子山支所	立子山字竹ノ下24-1
	飯坂支所・飯坂学習センター	飯坂字銀杏6-11
	松川支所	松川町字上桜内18
	信夫支所・信夫学習センター	大森字馬場1
	吾妻支所・吾妻学習センター	笹木野字折杉41-1
	飯野支所	飯野町字後川10-2
	茂庭出張所	飯坂町茂庭字宮沢口9-1
	アクティブシニアセンター・アオウゼ	曾根田町1-18MA Xふくしま4階
	保健福祉センター	森合町10-1
	こむこむ館	早稲町1-1
	東口行政サービスコーナー	本町2-6
	西口行政サービスコーナー	三河南町1-20
	ヘルシーランド福島	岡部字上川原26
民 間 施 設	イオン福島店（正面南側入口）	南矢野目字西荒田50-17
	イオン福島店（正面北側入口）	南矢野目字西荒田50-17
	カインズホーム福島鎌田店	鎌田字中田7-1
	カインズホーム方木田店	方木田字水持代5-1
	コープマーケットいづみ	森合字清水7
	コープマーケット笹谷	笹谷字中谷地14-1
	コープマーケット新町	新町6-35
	コープマーケット瀬上	瀬上町字町尻70-5
	コープマーケット方木田	大森字北島20-1
	コープマーケットやのめ	南矢野目字向原1-1
	ダイユーエイト福島鎌田店	鎌田字鏡田3-1
	ダイユーエイト福島黒岩店	黒岩字浅井77-1
	ダイユーエイト福島八島田店	八島田字勝口75

（２）イベント回収

平成27年2月15日に開催された「ヘルシーランド福島お客様感謝 Day」で、市民から使用済小型電子機器等の回収を行った。

■回収ボックスデザイン



回収対象の小型家電 縦15cm× 横 30cm 以下			
●携帯電話	●ノート PC	●電話機	
●PHS	●タブレット	●FAX	
●スマートフォン			
●ラジオ (ラジカセ含む)	●デジタルカメラ	●映像用機器	
	●ビデオカメラ		
●音響機器	●補助記憶装置	●電子書籍端末	
		●電子辞書	
		●電卓	
●ゲーム機	●カー用品	●これらの付属品	

注意事項

①家電リサイクル法対象機器(テレビ・冷蔵庫・洗濯機・衣類乾燥機・エアコン)、電球・蛍光灯・乾電池は回収できません。

②個人情報や書き込まれているものは、あらかじめデータを削除してください。

③一度回収ボックスに入れたものは取り出せません。よく確認してから投入してください。

④回収ボックスに入らない大型家電(デスクトップパソコン、ラジカセなど)は、イベント開催のときに回収します。ボックスの上や周辺に置かないでください。

⑤異物・ゴミなど小型家電以外の物は、入れないでください。

■回収ボックス設置状況



福島市役所 1F エントランス



福島市役所西口入口



福島市役所 6F



あぶくまクリーンセンター



あらかわクリーンセンター(プザ) エントランス



あらかわクリーンセンター(プザ) 2F



渡利支所



杉妻支所



蓬萊支所



清水支所



東部支所・もちずり学習センター



大波出張所



北信支所・北信学習センター



吉井田支所・吉井田学習センター



西支所・西学習センター



土湯温泉町支所



信陵支所・信陵学習センター



立子山支所



飯坂支所・飯坂学習センター



松川支所



信夫支所・信夫学習センター



吾妻支所・吾妻学習センター



飯野支所



茂庭出張所



アクティブ シニアセンター・アオウゼ



保健福祉センター



こむこむ館



東口行政サービスセンター



西口行政サービスセンター



ヘルシード 福島



イトー福島店 (正面南側入口)



イトー福島店 (正面北側入口)



カインズホーム福島鎌田店



カインズホーム方木田店



コブマートいづみ



コブマート笹谷



コプ マート新町



コプ マート瀬上



コプ マート方木田



コプ マートやのめ



ﾀﾞｲｳ-ｲﾄ福島鎌田店



ﾀﾞｲｳ-ｲﾄ福島黒岩店



ﾀﾞｲｳ-ｲﾄ福島八島田店

(1) 本実証事業で作成した啓発グッズ

- ・事業の主旨、回収品目、ボックスのサイズ・設置場所、注意事項を記載することで、市民がチラシのみで事業の大枠を理解できるように工夫
- ・A 4 両面カラー
- ・作成部数：150,000 部
- ・平成 27 年 3 月 1 日発行「市政だより」に折込み全戸配布(108,500 部)
- ・残りの部数は公共施設窓口やイベントでの配布、転入者への配布等で使用する

[表面]



■チラシデザイン

[裏面]

なぜ回収するの？

平成25年4月、「小型家電リサイクル法」が施行されました。小型家電には鉄・アルミ・金・銀・銅・レアメタルといった有用な金属が含まれており、金額にすると1年間で844億円分の価値にあたります。その有用な金属をリサイクルするべく、金属のリサイクル回収が全国ですめられています。

「小型家電リサイクル法」に基づき、福島市でも家庭で使わなくなった小型家電を回収します。回収した小型家電は、適正に再資源化を実施できる事業者に引き渡してリサイクルを推進します。貴重な資源の有効活用・環境汚染の防止とともに、市のごみ減量化を目指します。

どこで回収してるの？

施設名	住 所	施設名	住 所
公共施設		民間施設	
福島市役所(本庁舎) 1階ロビー	方町内町3-1	イオン福島店	福島市白旗町50-17
あぶくまクリーンセンター	渡利字梅ノ木堀1-1	カインズホーム 福島鎌田店	鎌田字中田7-1
あぶくまクリーンセンター(リサイクルプラザ内)	仁井田字北堀1-1	カインズホーム 方木田	方木田字水持代5-1
渡利支所	渡利字市街7-1	コープmartいづみ	森合字清水7
杉葉支所	伏拝字台田1-1	コープmart笹谷	笹谷字中谷地14-1
蓮葉支所	蓮葉町西1丁目1-1	コープmart新町	新町6-35
清水支所	豊字大仏4-3	コープmart瀬上	瀬上町字河原70-5
東田支所・もちずり学習センター	朝野字奥地46	コープmart方木田	大森字北堀20-1
大塚出張所	大塚字堀ノ入48	コープmartやのめ	南大野字向原1-1
北郷支所・北郷学習センター	鎌田字中田11	ダイユー・イト 福島鎌田店	鎌田字鎌田3-1
古井田支所・古井田学習センター	仁井田字西下川原1-1	ダイユー・イト 福島黒岩店	黒岩字浅井77-1
西支所・西学習センター	上名島字下4-2	ダイユー・イト 福島八景田店	八景田字新口75
土崎温泉支所	土崎温泉町字上ノ町9		
信陵支所・信陵学習センター	信台字オノノ1		
立子山支所	立子山字竹ノ下24-1		
飯坂支所・飯坂学習センター	飯坂町字新田6-11		
松川支所	松川町字上坂内18		
信夫支所・信夫学習センター	大森字馬場1		
吾妻支所・吾妻学習センター	吾妻町字杉41-1		
飯野支所	飯野町字後川110-2		

※回収時間は各施設の開館時間または各店舗の営業時間となります。

リサイクルの流れ

回収からリサイクルまで、盗難対策を講じるなど適切に管理します。

小型家電 → 回収 → リサイクル事業者 → 金属製錬所 → 金属資源 → メーカー

ボックスに投入する前の注意点

- 個人情報(住所・氏名・電話番号など)が含まれているものは、あらかじめデータを削除してください。
- 一度回収ボックスに入れたものは取り出せません。よく確認してから投入してください。
- 回収ボックスに入らない小型家電(デスクトップパソコン、ラジカセなど)は、イベント回収のときに回収します。イベント回収の日時、場所は別に市政だよりで広報しますのでボックスの上や周辺に置かないでください。
- 回収ボックスを利用できない場合は、これまでどおり不燃ごみ(60cmを超えるものは粗大ごみ)で出してください。ただし、パソコンはステーション(集積所)には出さないでください。パソコンの回収方法はメーカー又はパソコン3R推進協会にお問い合わせください。

お問い合わせ 福島市清掃管理課 ☎024-525-3744

福島市 小型家電

②ポスター

- ・福島市内の回収ボックス設置場所等に掲示することで市民の関心を高める
- ・A2片面カラー
- ・作成部数：500部

小型家電のリサイクルが始まります!!

2月2日より

福島市内の公共施設、民間商業施設に回収ボックスを設置します。リサイクルにご協力ください。

このオレンジのボックスにいれてね!

回収できるもの

※家電リサイクル法対象機器（テレビ・冷蔵庫・洗濯機・空調設備・エアコン）、電池・蛍光灯・乾電池・ボタン電池は回収できません!!

●携帯電話 ●PHS ●スマートフォン	●ノートPC ●タブレット	●電話機 ●FAX
●ラジオ (ラジカセ含む)	●デジタルカメラ ●ビデオカメラ	●映像用機器 ビデオデッキ、HDDレコーダ、DVD/BDプレーヤー、レコーダ、TVチューナー
●音楽機器 デジタルオーディオプレーヤー、CD/MDプレーヤー、ICレコーダ、MP3	●補助記憶装置 USBメモリ、メモリーカード、ハードディスク	●電子書籍端末 ●電子辞書 ●電卓
●ゲーム機 据置型ゲーム機、携帯型ゲーム機	●カー用品 カーナビ、カーナビディスプレイ、カーナビディスプレイ、カーナビディスプレイ、カーナビディスプレイ	●これらの付属品 リモコン、ACアダプター、ケーブル、プラグ、ジャック、充電器など

この投入口に入る
大きさのものが
対象です。

30cm
15cm

携帯電話の投入口
10cm
5cm

回収ボックス設置場所

公共施設
福島市役所（本庁舎）1階エントランス、あぶくまクリーンセンター、あらかわクリーンセンター（リサイクルプラザ内）、渡利支所、杉妻支所、蓮葉支所、清水支所、東部支所、もちずり学習センター、大塚出張所、北郷支所、北郷学習センター、吉井田支所、吉井田学習センター、西支所、西学習センター、土湯温泉町支所、信濃支所、信濃学習センター、立子山支所、飯坂支所、飯坂学習センター、松川支所、宿大支所、宿大学習センター、吾妻支所、吾妻学習センター、最上支所、最上出張所、アクトピアセンター・アクトピア・保釈所、保釈所センター、こむね町、東口行政サービスコーナー、西口行政サービスコーナー、ヘルシーランド福島

民間商業施設
イオン福島店、カインズホーム福島駅前店、カインズホーム方木田店、コープマーケットいすみ、コープマーケット世谷、コープマーケット新町、コープマーケット瀬上、コープマーケット方木田、コープマーケットやのめ、ダイユーエイト福島駅前店、ダイユーエイト福島黒岩店、ダイユーエイト福島八田店

ボックスに投入する前の注意点

- 個人情報（住所・氏名・電話番号など）が含まれているものは、あらかじめデータを削除してください。
- 一度回収ボックスに入れたものは取り出せません。よく確認してから投入してください。
- 回収ボックスに入らない（リチウム電池（デジタクト）/パソコン、ラジカセなど）は、イベント回収のときに回収します。イベント回収のときは、場所は別に市役所よりで広報しますのでボックスの上や周辺に書かないでください。
- 回収ボックスを利用できない場合は、これまでどおり不燃ごみ（60cmを超えるものは粗大ごみ）を出してください。ただし、パソコンはステーション（集積所）には出さないでください。パソコンの回収方法はメーカー又はパソコンリサイクル協会にお問い合わせください。

福島市 お問い合わせ **福島市清掃管理課** ☎024-525-3744 **福島市 小型家電** [検索](#)

③のぼり

- ・ ボックス設置場所やイベント回収実施の際にのぼり旗を設置し、市民の関心を高める
- ・ 作成本数：55 本

■のぼりデザイン



④看板

- ・ 各公共施設に設置する回収ボックスと併せて置くことで、ボックス回収の実施をアピールし、市民の関心を高める
- ・ 作成個数：27 個

■看板デザイン



⑤エコバッグ

- ・ イベント実施時に配布することで使用済小型電子機器等リサイクルの実施をアピールし、市民の関心を高める
- ・ 平成 27 年 2 月 15 日(日)に開催されたヘルシーランド福島主催「お客様感謝 Day」の来場者に配布
- ・ デザインには福島市のキャラクター「ももりん」を使用し、普段から使用してもらえそうなデザインにするよう工夫
- ・ 市民にエコバッグを使用してもらうことでの宣伝効果にも期待
- ・ バッグは回収ボックスの投入口に近いサイズのものを採用し、回収対象品目の中でも大きなビデオデッキ等も入れることが可能となっている
- ・ 作成個数：3,000 個

■エコバッグデザイン



⑥ポケットティッシュ

- ・ イベント実施時に配布することで使用済小型電子機器等リサイクルの実施をアピールし、市民の関心を高める
- ・ 平成 27 年 2 月 15 日(日)に開催されたヘルシーランド福島主催「お客様感謝 Day」の来場者に配布
- ・ 作成個数：10,000 個

■ポケットティッシュデザイン



⑦缶バッジ

- ・ イベント実施時に配布することで使用済小型電子機器等リサイクルの実施をアピールし、市民の関心を高める
- ・ 平成 27 年 2 月 15 日(日)に開催されたヘルシーランド福島主催「お客様感謝 Day」の来場者に配布
- ・ 福島市職員がバッジをつけることで市民へアピールを図る
- ・ 作成個数：5,000 個

■缶バッジデザイン



- ・回収スタート時とイベント実施時に合わせて新聞広告を掲載し、市民の関心を高める
- ・1 回目の掲載：平成 27 年 2 月 1 日(日)、2 回目の掲載：平成 27 年 2 月 11 日(祝)
- ・掲載紙は地元紙の福島民報と福島民友
- ・5 段広告（1/3 ページ）

- ・ 市民になじみのあるごみカレンダー「ごみの分別と出し方」に「小型家電」の枠を設けることで市民への周知を図る
- ・ A 3 両面カラー
- ・ 作成部数：150,000 部
- ・ 平成 27 年 4 月 1 日発行「市政だより」と併せて全戸配布（3 月末配布）

[illegible]

①福島市長会見

- # 電子機器を無料回収

市が実証事業2月開始

福島市は来年2月よりパソコン、ビデオカメラ計11品目やその付属品を回収し、再資源化する。市内の公共施設や商業施設が約50力所のほか、イベント会場に回収ボックスを設ける。個人情報保護のため、機器のデータを消去してから廃棄しようとする市民に呼び掛ける。

同事業は、環境省のリサイクルシステム構築実証事業の一環。市が参加を申請し、採択された。使われなくなった携帯電話やパソコン、ビデオカメラなど、大型家電や自動車と比べ、小型電子機器のリサイクルは進んでいないのが現状。国は昨年、使用済小型電子機器の再資源化に関する法律を施行し、対策を急いでいる。

福島市は来年2月よりパソコン、ビデオカメラ計11品目やその付属品を回収し、再資源化する。市内の公共施設や商業施設が約50力所のほか、イベント会場に回収ボックスを設ける。個人情報保護のため、機器のデータを消去してから廃棄しようとする市民に呼び掛ける。

同事業は、環境省のリサイクルシステム構築実証事業の一環。市が参加を申請し、採択された。使われなくなった携帯電話やパソコン、ビデオカメラなど、大型家電や自動車と比べ、小型電子機器のリサイクルは進んでいないのが現状。国は昨年、使用済小型電子機器の再資源化に関する法律を施行し、対策を急いでいる。

福島市は来年2月よりパソコン、ビデオカメラ計11品目やその付属品を回収し、再資源化する。市内の公共施設や商業施設が約50力所のほか、イベント会場に回収ボックスを設ける。個人情報保護のため、機器のデータを消去してから廃棄しようとする市民に呼び掛ける。

②福島市ホームページでの周知

- 福岡市 ふくしまえラブ**

文字サイズ 拡大 標準 縮小
多言語案内 English 中文 日本語

総合トップ | **市民の皆様へ** | **事業者の皆様へ** | **観光情報** | **市政情報** | **防災ウェブ**

[トップページ](#) > [ご意見・お問い合わせ](#) > [環境政策](#) > 3月2日から使用済小型家電のリサイクルを始めます

3月2日から使用済小型家電のリサイクルを始めます

[お知らせ] [よくある質問] [お問い合わせ]

[環境問題ページを表示する](#)

平成28年4月1日に施行された「使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律」に基づき、3月2日（月）曜日より携帯電話やデジタルカメラなどに含まれる貴金属やレアメタル（希少金属）などの再資源化やごみの減量化のために、市内の公共施設、民間商業施設に回収ボックスを設置しリサイクルします。

使用済小型家電リサイクルの目的

いまでも不燃ごみとして家から出されていた小型家電を回収し、適正に再資源化を実施できる事業者が3月以降よりリサイクルを開始します。貴重な資源の有効活用・環境汚染の防止とともに、市のこみ減量化を目指します。

回収の方法

ボックス設置

市の公共施設や民間商業施設に室内に設置した回収ボックスに使用済小型家電を入れてください。投入口は15cm×高230mm)に入らざるもののみでの回収です。

投入口の大きさ

15cm
230mm

側面からの投入口
8cm
150mm

対象品目	長方形の例
スマートフォン	
携帯電話、PHS機、カーナビゲーション、カーチャージャー、カーステレオ、カーラジオ、カーCDプレイヤー、カーDVD、カムコーダー、VHSレコーダー、ETC車載ユニット	
カメラ、ビデオカメラ、DVDレコーダー、HDDレコーダー、BDレコーダー/プレーヤー、ビデオテープレコーダー、チューナー、STB	
イヤホン、デジタルオーディオプレーヤー(フジエアー)、HDD、CDプレーヤー、デジタライズ器(テープレスレコーダー)	
ミニコンピュータ、タブレット型端末	
無線LANルーター(ハードディスク、USBメモリ、メモリーカード)	
充電器	
録音機	
ゲーム機、携帯型ゲーム機、ハンディゲーム機(ミニ電子ゲーム、ゲーム用コントローラー)	
リモコン、ACアダプター、ケーブル、プラグジャック、充電ケーブル	

※回収対象品目のうち回収ボックスの投入口に入らない大型ステップ、ダウンスイッチ型パソコンなどはイベント回収のときに回収します。

ご注意ください

 - パソコンや携帯電話などに含まれる個人情報があるものを捨てないでください。
 - 電圧・電流値と電圧・電流値が記載されている電池は回収しません。必ず取り除いてから回収ボックスに入れてください。※市内のボイラールーム回収設備場所は一時的に閉鎖されています。
 - 火気厳禁の注意書きのある容器には、可燃物を入れないでください。
 - 家電リサイクル法対象品目(テレビ、エアコン、冷蔵庫、洗濯機、衣類乾燥機)は回収できません。
 - 一度回収ボックスに入れたものは回収していません。よく確認してから投入してください。
 - 投入口に十分な小型家電回収ボックスの上の開けっ放しは行ってはいけません。投入口に十分な小型家電はイベント回収のときにも回収されます。イベント回収は関係者に知らせていただきます。
 - 回収ボックスを誤って開けない場合は、これまでどおり最大60cmの高さを超えるのは禁止されています。ただし、パソコンはステーション(業務用)にはなっていないため、パソコンの回収方法がメーカーまたはジャンクショップのホームページに掲載されている場合を除きます。
 - 家の中から出される小型家電が少なくても、事業者から出される小型家電も、事業者の責任にて回収させていただきます。

回収ボックス設置場所

対象品目

スマートフォン

携帯電話、PHS機、カーナビゲーション、カーチャージャー、カーステレオ、カーラジオ、カーCDプレイヤー、カーDVD、カムコーダー、VHSレコーダー、ETC車載ユニット

カメラ、ビデオカメラ、DVDレコーダー、HDDレコーダー、BDレコーダー/プレーヤー、ビデオテープレコーダー、チューナー、STB

イヤホン、デジタルオーディオプレーヤー(フジエアー)、HDD、CDプレーヤー、デジタライズ器(テープレスレコーダー)

ミニコンピュータ、タブレット型端末

無線LANルーター(ハードディスク、USBメモリ、メモリーカード)

充電器

録音機

ゲーム機、携帯型ゲーム機、ハンディゲーム機(ミニ電子ゲーム、ゲーム用コントローラー)

リモコン、ACアダプター、ケーブル、プラグジャック、充電ケーブル

・1月号

～リサイクルに皆さんのご協力をお願いします～

2月2日から使用済小型家電の回収を開始します

福島市は、平成25年4月1日に施行された小型家電リサイクル法の実施事業対象地域に選ばれました。「小型家電リサイクル法」は携帯電話やデジタルカメラなどに含まれる貴金属やレアメタル(希少金属)などの再資源化やごみ減量化のために定められた法律です。市が回収ボックスを設置するなどして、型家電を回収し、再資源化を市街に引き連ねていきます。

■ 市街 清掃管理課 ☎525-3744

Q. どのような小型家電を回収するの？

A. 携帯電話、デジタルカメラ、ラジオ、MDプレーヤー、パーソナルコンピュータ、電子辞書、辞書型辞典、辞書型辞書の投入口(15㎝×30㎝)に入る大きさの型家電を対象に回収します。

※家電リサイクル法対象家電(テレビなど)は回収できません。


Q. 回収方法は？

A. 市庁の公共施設や民間商業施設に回収ボックスを設置しますので、直接提出してください。また、環境フェスタなどのイベント開催時にも回収ボックスを設置し回収します。

Q. いつから回収を始めると？

A. **2月2日**から回収を始めます。

回収する小型家電の種類や回収ボックスの設置場所は、清掃管理課や各支所などで来月下旬からお知らせするチラシ、市役下より2月号、市ホームページなどで詳しくお知らせします。




The comic strip shows a character asking about recycling small appliances. A character explains that small appliances like mobile phones and digital cameras can be recycled because they contain precious metals. The character also mentions that the city will set up collection boxes and that the recycling process will be linked to the city's waste management system.

～「Reuse(リユース)」って、なに？～

「R」とは、ごみの減量化に向けて重要な3R(リデュース・Reuse(リユース)・Recycle(リサイクル))の3つの要素を成しているです。今回はその一つ「Reuse(リユース)」について紹介します。

Reuse(リユース)とは、
「使う」というのは何回も繰り返し使うことです。
 また、私たちは日常生活で何回も使うことができるようになりますか？



【日常生活でできる取り組み例】

- ①修繕できるものは、修理して長く使う
- ②リサイクルショップや古物屋や不用品店のように、販売店で回収し、再び活用できるものなら再度活用する
- ③フリーマーケットやリサイクルショップなどを利用する など

この他にも、私たちは日常生活でできる取り組みはたくさんあります。いろいろなものをとみとめて活用できるように、もう一度活用できないか考えてみましょう。

次回は、Recycle(リサイクル)について紹介します。

おしえて！
ももりん

(第4回)

福島市役所
 環境・資源課
 電話 525-3744

みんなの住むまち
福島市のすてきな
未来のために



・2月号

[illegible][illegible]

④新聞広告（広報広聴課枠）

- ・福島市広報広聴課で保有している広告枠の中で使用済小型電子機器等の回収開始に関する広告を実施

ふくしま市だより 福島市役所 ☎024-535-1111 (代表) 〒960-8601 福島市五老内町3-1
 市政情報は、市のホームページでもご覧になれます。
 ホームページアドレス <http://www.city.fukushima.fukushima.jp/>
 ふくしまウェブ携帯版 <http://www.city.fukushima.fukushima.jp/f/>

福島市男女共生セミナー
明日も素敵に輝いて生きる
 ～仕事とプライベートを充実させる生き方～

参加無料
 事前申込制
 先着順

タレントの麻木久仁子さんが仕事とプライベート・育児を両立させながらキャリアを積んでいく苦労や病気を乗り越えての人生観などの講演を行います。また、福島高等学校ジャズ研究部の演奏と、男女共同参画についての「あなたからのメッセージ」応募作品の展示を行います。

■と き / **1月31日(土)** 午後1時30分～3時30分 (受け付け午後1時)

■と ころ / **福島テルサFTホール**

■定 員 / **450人(先着順)**

■申し込み方法 / 1月21日(水)まで(必着)に、電話(受け付け午前9時～午後9時)か、男女共同参画センター、各支所・学習センターに備え付けの申込書に必要事項を明記の上、郵送かファクスで。市ホームページメールフォームからも申し込み可。
 ※託児ルーム(予約制)の利用可(対象は2歳児～未就学児)
 ※当日は手話通訳があります。

◎申込・問 / 福島市男女共生セミナー実行委員会事務局(福島市男女共同参画センター内)
 〒960-8035 福島市本町2-6 ☎024-525-3784 FAX024-522-1528

2月2日(月)から使用済小型家電の回収を開始します
 回収する小型家電(携帯電話、デジタルカメラなど)は、市内の公共施設や民間商業施設に回収ボックスを設置しますので、直接投入してください。
 皆さんのご協力をお願いします。詳しくは、市政だより2月号をご覧ください。 ■問 / 清掃管理課 ☎024-525-3744

平成 27 年 1 月 10 日
 福島民報・福島民友

ふくしま市民のページ 福島市役所 ☎024-535-1111 (代表) 〒960-8601 福島市五老内町3-1
 市政情報は、市のホームページでもご覧になれます。
 ホームページアドレス <http://www.city.fukushima.fukushima.jp/>
 ふくしまウェブ携帯版 <http://www.city.fukushima.fukushima.jp/f/>

2月2日(月)から使用済小型家電の回収を開始します

回収する小型家電(携帯電話、デジタルカメラなど)は、市内の公共施設や民間商業施設に回収ボックスを設置しますので、直接投入してください。
 回収対象の小型家電や回収ボックスの設置場所など詳しくは、市政だより2月号や市ホームページをご覧ください。

回収方法
ボックス回収 市内に設置する回収ボックスの投入口から小型家電を投入してください。
 投入口の大きさは、横30cm×縦15cmです。投入口に入るもののみ回収します。

イベント回収 2月15日(日)ヘルシーランド福島で開催される「お客様感謝Day」でイベント回収を行います。
 ※職員が立ち会いますので、ボックス回収できない大きさの小型家電も回収します(例:ラジカセ、デスクトップパソコンなど)。

■注意点
 ・個人情報が含まれる場合は、あらかじめデータを削除してください。
 ・家電リサイクル法の対象品になっているテレビ、冷蔵庫、エアコン、洗濯機などは対象になりません。
 ・乾電池やボタン電池、蛍光灯、電球は取り外して投入してください。
 ・一度投入した使用済小型家電は返却できません。
 ・一般家庭で使用された小型家電に限りです。

■問 / 清掃管理課 024-525-3744

市・県民税申告相談が始まります
 2月9日(月)～3月16日(月) 午前9時30分から午後3時30分まで(土曜・祝祭日は午前10時～午後3時)市・県民税の申告相談受付を行います。
 必要なもの詳しくは、市政だより2月号または、市ホームページをご覧ください。 ■問 / 市民税課 024-525-3792、024-52

平成 27 年 1 月 28 日
 福島民報・福島民友

⑤市政番組での周知

- ・事業の目的、回収対象品目、ボックス設置場所・投入口の大きさ等を周知
- ・県内の民放4局で放送



⑥イベント回収のPR

- ・「ヘルシーランドお客様感謝 Day」をPRする際にイベント回収を実施する旨も併せて宣伝した



⑦使用済小型電子機器等リサイクル開始式の実施

- ・回収を開始した平成 27 年 2 月 2 日(月)に福島市役所本庁舎 1 階エントランスで開始式を実施
- ・県内の報道機関に声がけし、取材・報道を依頼



- ・テレビ
NHK、テレビユー福島、福島中央テレビ



・新聞

福島民友、福島民報

平成 27 年 2 月 3 日
福島民友

小型家電リサイクル開始

40カ所に回収箱

福島市は、小型家電リサイクル事業を開始した。市内の学習センターやスーパーなど約40カ所に回収ボックスを設置。資源の有効活用とみ減量化を目指す。

リサイクル事業は環境省の実証事業の一端。使用済み小型家電には、金属類が含まれる。全国各地でリサイクルが進められている。県内では伊達市に次いで、市内で設けるのは初めて。

使用済み小型家電回収ボックスに投入する小林部 ともり

市はこれまで、使用済み小型家電を不燃ごみとして扱い、鉄やステンレスのリサイクルだけにとまっていた。今後はフアイーティフロンティア伊達市が再資源化を請け負うことで、不燃ごみのリサイクルも回収可能になる。回収料無料で、不燃ごみの日以外にも捨てることになる。

無料、不燃ごみの日以外も

設置された使用済み小型家電回収ボックス

対価は使用済みの携帯電話、パソコン、カメラなど目録その付属品。小型家電リサイクル事業の開始式は同日、市役所でされた。市環境部の小林部 ともり（左）が回収ボックスに投入した。

リサイクルの協力を呼び掛けた。問い合わせは市清掃課 電話5・744へ。

(第三種郵便物認可)

福島市 パソコン、携帯電話…リサイクル 小型家電の回収 開始



公共施設 商業施設 41カ所に専用箱

福島市は、使用済み小型家電の回収を開始した。公共施設や民間商業施設など市内41カ所に回収箱を設置したほか、各種イベント会場にも臨時の回収箱を設け、携帯電話、パソコン、ビデオカメラなどのリサイクルにつなげる。

同日、市役所で開始式を行い、小林克弘環境部長と市議の鶴光PRキャスター「ももり」が回収箱にパソコンを投入した。問い合わせは市清掃管理課 電話024(55)3744へ。

平成 27 年 2 月 4 日
福島民報

5. 回収状況

■実証事業期間：平成 27 年 2 月 2 日～平成 27 年 2 月 28 日

■目標回収量：約 17t/年（対象人口 283 千人 国の目標値 1kg/年・人×BOX 回収 5%）

■実績回収量：12.2 t（BOX 回収 1.8t, イベント回収 10.4t）

■回収対象品：福島市が指定する品目で 12 分類の約 50 品目とした

※ボックス回収は投入口 30cm×15cm に入るもの

※イベント回収はパソコンのディスプレイ等も対象にした

回収できるもの

※家電リサイクル法対象機器（テレビ・冷蔵庫・洗濯機・衣類乾燥機・エアコン）、電球・蛍光灯・乾電池・ボタン電池は回収できません！！

- 携帯電話
- PHS
- スマートフォン
- ラジオ（ラジカセ含む）
- 音響機器
- デジタルオーディオプレーヤー、CD/DVD プレーヤー、IC レコーダー、増設器
- ゲーム機
- 据置型ゲーム機
- 携帯型ゲーム機

- ノート PC
- タブレット
- デジタルカメラ
- ビデオカメラ
- 補助記憶装置
- USB メモリ
- メモリーカード
- ハードディスク
- カー用品
- カーナビ、カーステレオ（CD/MD/DVD/ラジオ）
- カーチューナー、VICIS ユニット
- ETC 車載ユニット

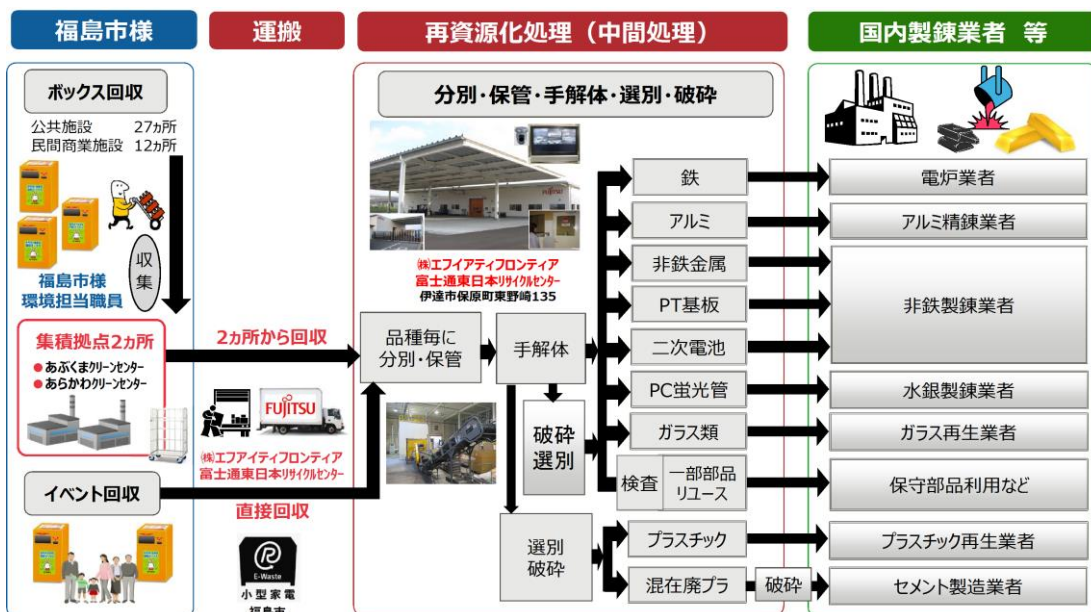
- 電話機
- FAX
- 映像用機器
- ビデオテープデッキ、HDD レコーダー、DVD/BD プレーヤー、レコーダー、TV チューナー
- 電子書籍端末
- 電子辞書
- 電卓
- これらの付属品
- リモコン、AC アダプター
- ケーブル・プラグ、ジャック
- 充電器など

この投入口に入る大きさのものが対象です。

30cm
15cm
10cm
5cm

携帯電話の投入口

■回収方法及び収集運搬について



※ボックス回収：福島市内の公共施設 27 箇所及び民間商業施設 12 箇所から市職員が 2 箇所のクリーンセンターに収集し再資源化業者に引渡す。引渡し時は市施設の台貫で計量し引渡伝票を交付、後日、再資源化処理施設で品目別の重量と個人情報がある品目に対して台数を計測する。

※イベント回収：イベント会場に集積し再資源化業者が直接回収を行う。その後、品目別の重量と個人情報がある品目に対して台数を計測する。

(1) 全体の回収状況

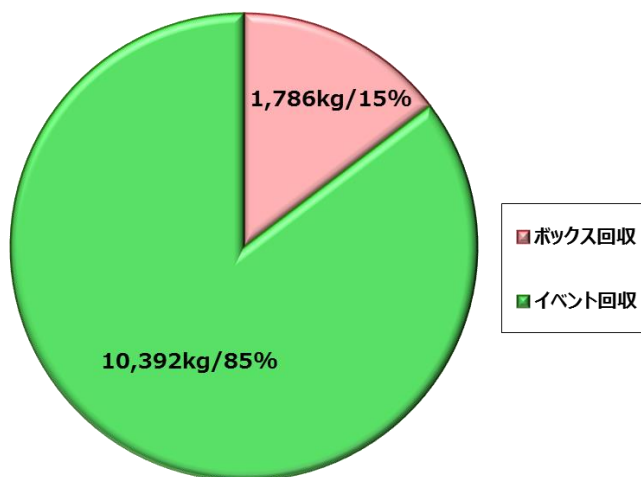
①回収方法別 回収量

(単位:kg)

	ボックス回収	イベント回収	合計
回収量	1,786	10,392	12,178

※2/2回収開始

※2/15イベント回収



②品種別 回収量

(単位:台)

(単位:kg)

	ノートパソコン	デスクトップPC	携帯	ノートパソコン	デスクトップPC	携帯等	その他	対象外品目	合計
ボックス回収	294	16	385	821	78	41	730	116	1,786
イベント回収	226	352	151	665	3,323	19	5,261	1,124	10,392
合計	520	368	536	1,486	3,401	60	5,991	1,240	12,178



※対象外品目：福島市指定品目以外の使用済小型電子機器等

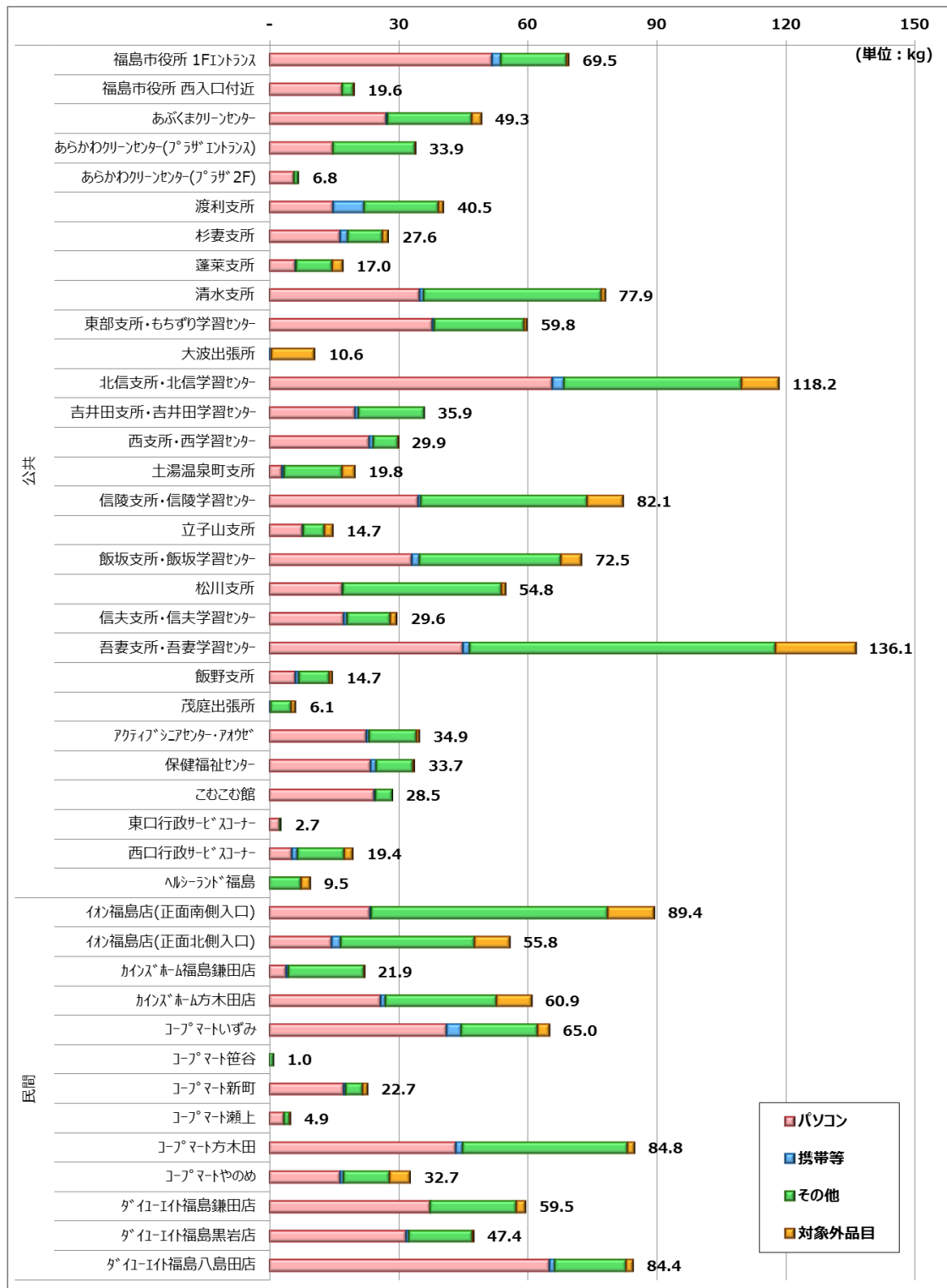
主な品目

- ・スキャナ
- ・プリンタ
- ・シェーバー
- ・ヘアドライヤー
- ・時計
- ・掃除機 等

(2) 対象施設ごとのボックス回収重量

(単位 : kg)

		パソコン	携帯等	その他	対象外品目	合計
公共	福島市役所 1Fエントランス	51.6	2.2	15.2	0.6	69.5
	福島市役所 西入口付近	16.9		2.7	0.1	19.6
	あぶくまクリーンセンター	27.2	0.3	19.5	2.4	49.3
	あらかわクリーンセンター(7° 34' エントランス)	14.8		19.0	0.0	33.9
	あらかわクリーンセンター(7° 34' 2F)	5.8		1.0		6.8
	渡利支所	14.7	7.2	17.3	1.2	40.5
	杉妻支所	16.5	1.7	8.0	1.4	27.6
	蓬萊支所	6.2	0.1	8.3	2.5	17.0
	清水支所	34.7	1.1	41.1	0.9	77.9
	東部支所・もちずり学習センター	37.7	0.6	20.8	0.7	59.8
	大波出張所		0.5		10.1	10.6
	北信支所・北信学習センター	65.6	2.8	41.2	8.7	118.2
	吉井田支所・吉井田学習センター	20.0	0.7	15.3		35.9
	西支所・西学習センター	23.1	1.0	5.8	0.0	29.9
	土湯温泉町支所	2.9	0.5	13.5	2.9	19.8
	信陵支所・信陵学習センター	34.5	0.6	38.6	8.5	82.1
	立子山支所	7.7	0.2	5.0	1.9	14.7
	飯坂支所・飯坂学習センター	33.0	1.8	32.8	4.8	72.5
	松川支所	16.9	0.2	36.7	1.0	54.8
	信夫支所・信夫学習センター	17.3	0.7	10.2	1.5	29.6
	吾妻支所・吾妻学習センター	44.9	1.6	70.9	18.7	136.1
	飯野支所	6.1	0.9	7.0	0.7	14.7
	茂庭出張所		0.4	4.8	1.0	6.1
	アクティブセンター・アオサセ	22.5	0.6	11.0	0.7	34.9
	保健福祉センター	23.4	1.4	8.6	0.3	33.7
	こむこむ館	24.4	0.2	3.9		28.5
	東口行政サービスコーナー	2.4	0.1	0.2		2.7
	西口行政サービスコーナー	5.3	1.3	10.8	2.0	19.4
	ヘルシーランド 福島			7.4	2.1	9.5
公共 集計		575.7	28.9	476.6	74.3	1,155.6
民間	イオン福島店(正面南側入口)	23.3	0.3	54.9	10.9	89.4
	イオン福島店(正面北側入口)	14.5	2.2	31.0	8.2	55.8
	カインズホーム福島鎌田店	4.0	0.4	17.5	0.0	21.9
	カインズホーム方木田店	25.8	1.2	25.8	8.2	60.9
	ユー・アール・エム いづみ	41.1	3.4	17.7	2.7	65.0
	ユー・アール・エム 笹谷			1.0		1.0
	ユー・アール・エム 新町	17.3	0.4	4.0	1.1	22.7
	ユー・アール・エム 瀬上	3.4		1.3	0.2	4.9
	ユー・アール・エム 方木田	43.2	1.7	38.2	1.8	84.8
	ユー・アール・エム やのめ	16.4	0.8	10.6	4.9	32.7
	ダイエー 福島鎌田店	37.2	0.1	20.1	2.1	59.5
	ダイエー 福島黒岩店	31.6	0.8	14.8	0.2	47.4
	ダイエー 福島八島田店	64.9	1.2	16.6	1.7	84.4
民間 集計		322.6	12.5	253.4	41.9	630.4
合計		898.4	41.4	730.0	116.2	1,786.0



(3) イベント回収の状況

「ヘルシーランド福島お客様感謝 Day」

開催日 : 平成 27 年 2 月 15 日 (日)

会 場 : ヘルシーランド福島

- ・ あぶくまクリーンセンターに隣接する健康施設「ヘルシーランド福島」のお客様感謝 Day で使用済小型電子機器等の回収を実施した
- ・ 施設への来場者にポケットティッシュ、使用済小型電子機器等を持参した市民にエコバッグ・缶バッジ・ポケットティッシュを配布することで周知啓発を図った



		イベント回収			ボックス回収			合計		
分類	回収品目	台数(台)	重量(kg)	重量%	台数(台)	重量(kg)	重量%	台数(台)	重量(kg)	重量%
携帯等	携帯電話	148	18	0.2%	365	39	2.2%	513	57	0.5%
	PHS端末									
パソコン	スマートフォン	3	1	0.0%	20	3	0.1%	23	3	0.0%
	ノートパソコン	226	665	6.4%	289	819	45.8%	515	1,484	12.2%
	タブレット端末				5	2	0.1%	5	2	0.0%
	デスクトップパソコン	352	3,323	32.0%	16	78	4.3%	368	3,401	27.9%
電話	電話機	70	33	0.3%	83	36	2.0%	153	68	0.6%
	ファクシミリ装置	34	142	1.4%	17	59	3.3%	51	201	1.7%
受信機	ラジオ	15	8	0.1%	28	8	0.5%	43	16	0.1%
	小型テレビ	12	4	0.0%	8	8	0.5%	20	13	0.1%
カメラ	デジタルカメラ	34	7	0.1%	48	10	0.5%	82	16	0.1%
	ビデオカメラ	12	12	0.1%	10	9	0.5%	22	21	0.2%
	フィルムカメラ	16	6	0.1%	16	7	0.4%	32	13	0.1%
映像用機器	DVD-ビデオ	16	59	0.6%	19	31	1.7%	35	89	0.7%
	HDDレコーダ	25	99	1.0%				25	99	0.8%
	BDレコーダ/プレーヤ				1	2	0.1%	1	2	0.0%
	ビデオテープレコーダ(セット)	133	505	4.9%	16	54	3.0%	149	559	4.6%
	チューナ	5	7	0.1%	17	30	1.7%	22	38	0.3%
	STB						0.0%	-	-	0.0%
	MDプレーヤ	4	1	0.0%	5	1	0.0%	9	2	0.0%
音響機器	デジタルオーディオプレーヤ(フラッシュメモリ)	1	0	0.0%	6	0	0.0%	7	0	0.0%
	デジタルオーディオプレーヤ(HDD)	1	0	0.0%	5	2	0.1%	6	2	0.0%
	CDプレーヤ	2	1	0.0%	14	10	0.6%	16	11	0.1%
	ラジカセ	75	248	2.4%	32	59	3.3%	107	306	2.5%
	デッキ除くテープレコーダ	8	2	0.0%	14	16	0.9%	22	18	0.1%
	ICレコーダ				2	0	0.0%	2	0	0.0%
	ステレオ	16	223	2.1%	8	32	1.8%	24	255	2.1%
補助記憶装置	ハードディスク	44	20	0.2%	38	15	0.8%	82	35	0.3%
	USBメモリ				8	0	0.0%	8	0	0.0%
	メモリーカード				6	0	0.0%	6	0	0.0%
電子端末	電子辞書	4	1	0.0%	20	3	0.2%	24	4	0.0%
	電卓	16	2	0.0%	28	2	0.1%	44	4	0.0%
ゲーム機	据置型ゲーム機	32	41	0.4%	18	22	1.2%	50	63	0.5%
	携帯型ゲーム機	13	3	0.0%	20	3	0.2%	33	6	0.1%
カー用品	カーナビ	5	7	0.1%	14	16	0.9%	19	22	0.2%
	カーチューナ			0.0%	3	3	0.2%	3	3	0.0%
	カーステレオ	19	43	0.4%	12	27	1.5%	31	69	0.6%
附属品	リモコン	150	15	0.1%	128	13	0.7%	278	29	0.2%
	ACアダプタ	226	56	0.5%	628	120	6.7%	854	176	1.4%
	ケーブル		466	4.5%		55	3.1%		521	4.3%
	プラグ・ジャック		138	1.3%		1	0.1%		139	1.1%
	LCDディスプレイ	130	674	6.5%	3	12	0.7%	133	686	5.6%
	CRTディスプレイ	141	2,185	21.0%	-	-	0.0%	141	2,185	17.9%
	ネット機器	17	10	0.1%	35	15	0.8%	52	25	0.2%
	ドライブユニット				54	28	1.6%	54	28	0.2%
	キーボード		28	0.3%		9	0.5%		37	0.3%
	マウス		4	0.0%		8	0.4%		11	0.1%
	スピーカー		211	2.0%		8	0.4%		219	1.8%
	スキャナー	10	47	0.5%	1	0	0.0%	11	47	0.4%
対象外品目	ワープロ	49	319	3.1%	1	2	0.1%	50	321	2.6%
	プリンター	85	538	5.2%	4	13	0.7%	89	551	4.5%
	シェーバー				22	5	0.3%	22	5	0.0%
	ヘアードライヤー	4	2	0.0%	4	2	0.1%	8	4	0.0%
	時計	5	1	0.0%	11	1	0.1%	16	2	0.0%
	掃除器	2	15	0.1%	2	4	0.2%	4	19	0.2%
	電子ジャー	2	10	0.1%				2	10	0.1%
	電子レンジ	2	23	0.2%				2	23	0.2%
	レジスター	1	32	0.3%				1	32	0.3%
	説明書類、その他		137	1.3%		89	5.0%		226	1.9%
合計		2,165	10,392	100%	2,104	1,786	100%	4,269	12,178	100%

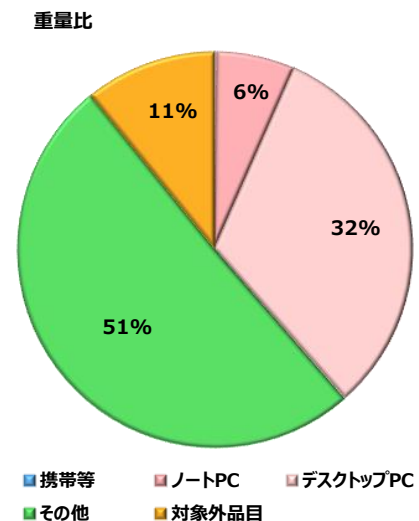
(4) 再資源化の状況

① イベント回収分

INPUT (単位:kg)			
分類	回収品目	台数	重量
携帯等	携帯電話	148	18
	PHS端末	-	-
	スマートフォン	3	1
パソコン	ノートパソコン	226	665
	タブレット端末	-	-
	デスクトップパソコン	352	3,323
電話	電話機	70	33
	ファクシミリ装置	34	142
受信機	ラジオ	15	8
	小型テレビ	12	4
カメラ	デジタルカメラ	34	7
	ビデオカメラ	12	12
	フィルムカメラ	16	6
映像用機器	DVD-ビデオ	16	59
	HDDレコーダ	25	99
	BDレコーダ/プレーヤ	-	-
	ビデオテープレコーダ(セット)	133	505
	チューナ	5	7
	STB	-	-
	M/Dプレーヤ	4	1
音響機器	デジタルオーディオプレーヤ(フラッシュメモリ)	1	0
	デジタルオーディオプレーヤ(HDD)	1	0
	CDプレーヤ	2	1
	ラジカセ	75	248
	デッキ除くテープレコーダ	8	2
	ICレコーダ	-	-
	補聴器	-	-
補助記憶装置	ステレオ	16	223
	ハードディスク	44	20
	USBメモリ	-	-
	メモリーカード	-	-
電子端末	電子書籍端末	-	-
	電子辞書	4	1
	電卓	16	2
ゲーム機	据置型ゲーム機	32	41
	携帯型ゲーム機	13	3
	ハンドヘルドゲーム(ミニ電子ゲーム)	-	-
	ハイテク系トレンドトイ	-	-
カー用品	カーナビ	5	7
	カーチューナ	-	-
	カーステレオ	19	43
	カーラジオ	-	-
	カーCDプレーヤ	-	-
	カーDVD	-	-
	カーMD	-	-
	VICSユニット	-	-
	ETC車載ユニット	-	-
附属品	リモコン	150	15
	ACアダプタ	226	56
	ケーブル	-	466
	プラグ・ジャック	-	138
	LCDディスプレイ	130	674
	CRTディスプレイ	141	2,185
	ネット機器	17	10
	ドライブユニット	-	-
	キーボード	-	28
	マウス	-	4
	スピーカー	-	211
	対象外品目	10	47
対象外品目	ワープロ	49	319
	プリンター	85	538
	ヘアードライヤー	4	2
	時計	5	1
	掃除器	2	15
	電子ジャー	2	10
	電子レンジ	2	23
	レジスター	1	32
	説明書類、その他	-	137
合計		2,165	10,392

OUTPUT (単位:kg)		
	重量	割合
貴金属類(基板類)	1,175.1	11.3%
銅くず(被覆線)	1,472.9	14.2%
鉄	2,952.4	28.4%
アルミ	271.9	2.6%
ステンレス	67.0	0.6%
アルミくず(ハードディスク)	241.3	2.3%
銅	97.9	0.9%
マグネシウム合金	14.0	0.1%
プラスチック	1,741.2	16.8%
モーター	122.7	1.2%
ガラス類	1,333.4	12.8%
木くず	141.0	1.4%
蛍光灯	2.6	0.0%
一次電池	3.9	0.0%
二次電池	104.0	1.0%
フロン回収・破壊	-	0.0%
混在廃材	650.4	6.3%
計	10,392	100.0%

貴金属回収量(推定値) (単位:g)	
	重量
金	71.7
銀	285.4
パラジウム	16.1
銅	177,903.0

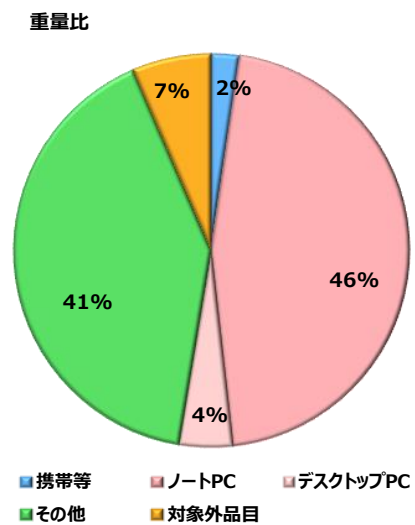


②ボックス回収分

INPUT (単位:kg)			
分類	回収品目	台数	重量
携帯等	携帯電話	365	39
	PHS端末	-	-
パソコン	スマートフォン	20	3
	ノートパソコン	289	819
	タブレット端末	5	2
電話	デスクトップパソコン	16	78
	電話機	83	36
受信機	ファクシミリ装置	17	59
	ラジオ	28	8
	小型テレビ	8	8
カメラ	デジタルカメラ	48	10
	ビデオカメラ	10	9
	フィルムカメラ	16	7
映像用機器	DVD-ビデオ	19	31
	HDDレコーダ	-	-
	BDレコーダ/プレーヤ	1	2
	ビデオテープレコーダ(セット)	16	54
	チューナ	17	30
	STB	-	-
音響機器	MDプレーヤ	5	1
	デジタルオーディオプレーヤ(フラッシュメモリ)	6	0
	デジタルオーディオプレーヤ(HDD)	5	2
	CDプレーヤ	14	10
	ラジカセ	32	59
	デッキ除くテープレコーダ	14	16
	ICレコーダ	2	0
	補聴器	-	-
	ステレオ	8	32
補助記憶装置	ハードディスク	38	15
	USBメモリ	8	0
	メモリーカード	6	0
電子端末	電子書籍端末	-	-
	電子辞書	20	3
	電卓	28	2
ゲーム機	据置型ゲーム機	18	22
	携帯型ゲーム機	20	3
	ハンドヘルドゲーム(ミニ電子ゲーム)	-	-
	ハイク系トレンドトイ	-	-
カー用品	カーナビ	14	16
	カーチューナ	3	3
	カーステレオ	12	27
	カーラジオ	-	-
	カーCDプレーヤ	-	-
	カーDVD	-	-
	カーMD	-	-
	VICSユニット	-	-
附属品	ETC車載ユニット	-	-
	リモコン	128	13
	ACアダプタ	628	120
	ケーブル	-	55
	プラグ・ジャック	-	1
	LCDディスプレイ	3	12
	CRTディスプレイ	-	-
	ネット機器	35	15
	ドライブユニット	54	28
	キーボード	-	9
	マウス	-	8
	スピーカー	-	8
対象外品目	スキャナー	1	0
	ワープロ	1	2
	プリンター	4	13
	ヘッドライヤー	4	2
	時計	11	1
	掃除器	2	4
	電子ジャー	-	-
	電子レンジ	-	-
	シェーバー	22	5
	説明書類、その他	-	89
合計		2,104	1,786

OUTPUT (単位:kg)		
	重量	割合
貴金属類(基板類)	224.1	12.5%
銅くず(被覆線)	272.1	15.2%
鉄	238.2	13.3%
アルミ	90.9	5.1%
ステンレス	59.3	3.3%
アルミくず(ハードディスク)	27.7	1.6%
銅	27.9	1.6%
マグネシウム合金	17.6	1.0%
プラスチック	423.4	23.7%
モーター	27.2	1.5%
ガラス類	78.2	4.4%
木くず	10.3	0.6%
蛍光灯	0.6	0.0%
一次電池	2.9	0.2%
二次電池	125.8	7.0%
フロン回収・破壊	-	0.0%
混在廃プラ	159.8	8.9%
計	1,786	100.0%

貴金属回収量(推定値) (単位:g)	
	重量
金	22.9
銀	166.0
パラジウム	3.4
銅	47,288.0

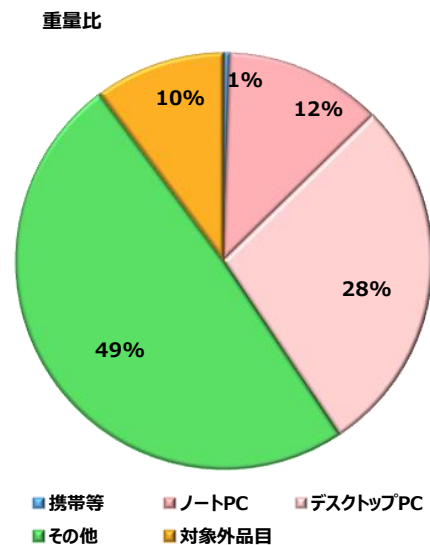


③イベント回収とボックス回収の合計 (12.178t)

INPUT		(単位:kg)	
分類	回収品目	台数	重量
携帯等	携帯電話	513	57
	PHS端末	-	-
	スマートフォン	23	3
パソコン	ノートパソコン	515	1,484
	タブレット端末	5	2
	デスクトップパソコン	368	3,401
電話	電話機	153	68
	ファクシミリ装置	51	201
受信機	ラジオ	43	16
	小型テレビ	20	13
カメラ	デジタルカメラ	82	16
	ビデオカメラ	22	21
映像用機器	フィルムカメラ	32	13
	DVD-ビデオ	35	89
	HDDレコーダ	25	99
	BDレコーダ/プレーヤ	1	2
	ビデオテープレコーダ(セット)	149	559
	チューナ	22	38
	STB	-	-
音響機器	MDプレーヤ	9	2
	デジタルオーディオプレーヤ(フラッシュメモリ)	7	0
	デジタルオーディオプレーヤ(HDD)	6	2
	CDプレーヤ	16	11
	ラジカセ	107	306
	デッキ除くテープレコーダ	22	18
	ICレコーダ	2	0
	補聴器	-	-
補助記憶装置	ステレオ	24	255
	ハードディスク	82	35
	USBメモリ	8	0
	メモリーカード	6	0
電子端末	電子書籍端末	-	-
	電子辞書	24	4
	電卓	44	4
ゲーム機	据置型ゲーム機	50	63
	携帯型ゲーム機	33	6
	ハンドヘルドゲーム(ミニ電子ゲーム)	-	-
	ハイクレストレンドイ	-	-
カー用品	カーナビ	19	22
	カーチューナ	3	3
	カーステレオ	31	69
	カーラジオ	-	-
	カーCDプレーヤ	-	-
	カーDVD	-	-
	カーMD	-	-
	VICSユニット	-	-
	ETC車載ユニット	-	-
附属品	リモコン	278	29
	ACアダプタ	854	176
	ケーブル	-	521
	プラグ・ジャック	-	139
	LCDディスプレイ	133	686
	CRTディスプレイ	141	2,185
	ネット機器	52	25
	ドライブユニット	54	28
	キーボード	-	37
	マウス	-	11
	スピーカー	-	219
対象外品目	スキャナー	11	47
	ワープロ	50	321
	プリンター	89	551
	ヘッドライヤー	8	4
	時計	16	2
	掃除器	4	19
	電子ジャー	2	10
	電子レンジ	2	23
	シェーバー	22	5
	レジスター	1	32
	説明書類、その他	-	226
合計		4,269	12,178

OUTPUT (単位:kg)		
	重量	割合
貴金属類(基板類)	1,399.2	11.5%
銅くず(被覆線)	1,745.0	14.3%
鉄	3,190.6	26.2%
アルミ	362.8	3.0%
ステンレス	126.3	1.0%
アルミくず(ハードディスク)	269.0	2.2%
銅	125.8	1.0%
マグネシウム合金	31.6	0.3%
プラスチック	2,164.6	17.8%
モーター	149.9	1.2%
ガラス類	1,411.6	11.6%
木くず	151.3	1.2%
蛍光灯	3.2	0.0%
一次電池	6.8	0.1%
二次電池	229.8	1.9%
フロン回収・破壊	-	0.0%
混在廃プラ	810.2	6.7%
計	12,178	100.0%

貴金属回収量(推定値) (単位:g)	
	重量
金	94.6
銀	451.4
パラジウム	19.5
銅	225,191



IV. 実証事業における協議会について

平成 26 年度「小型電子機器等リサイクルシステム構築実証事業」として以下 2 回にわたり協議会を開催した。

■第 1 回協議会

日時：平成 27 年 1 月 20 日(火)13 時 30 分～15 時 00 分

場所：福島市役所 7 階議会会議室

出席者：

- 福島市清掃管理課清掃管理係／宮崎・本田
- 福島県生活環境部一般廃棄物課／吉田
- 福島県県北地方振興局県民環境部環境課／安田
- 国立大学法人福島大学共生システム理工学類産業システム工学専攻／樋口
- 東北地方環境事務所廃棄物・リサイクル対策課／佐々木
- 株式会社エフアイティフロンティア／加藤・仙田・関岡・渡邊

式次第：

1. 開会
2. 東北地方環境事務所あいさつ
3. 福島市清掃管理課あいさつ
4. 事業運営請負業者あいさつ（株式会社エフアイティフロンティア）
5. 議事
 - (1) 実証事業の内容及びスケジュールについて〔説明：東北地方環境事務所〕
 - (2) 回収方法及び周知方法について〔説明：福島市〕
 - (3) 調査内容及び調査方法について〔説明：事業運営請負業者〕
 - (4) その他
6. 質疑応答
7. 閉会

会議概要：

実証事業の内容、スケジュール、周知方法、回収方法について意見交換し、情報を共有した。

■第2回協議会

日時：平成27年3月13日(金)13時30分～15時20分

場所：福島市役所5階 会議室501

出席者：

- 福島市清掃管理課清掃管理係／宮崎・本田
- 国立大学法人福島大学共生システム理工学類産業システム工学専攻／樋口
- 東北地方環境事務所廃棄物・リサイクル対策課／佐々木・山本
- 株式会社エフアイティフロンティア／加藤・仙田・関岡・渡邊

式次第：

1. 開会
2. 東北地方環境事務所あいさつ
3. 福島市清掃管理課あいさつ
4. 事業運営請負業者あいさつ（株式会社エフアイティフロンティア）
5. 議事
 - (1) 普及啓発の状況について〔説明：福島市〕
 - (2) 回収ボックス及びイベント回収の状況について〔説明：福島市〕
 - (3) 回収及び再資源化の状況について〔説明：株式会社エフアイティフロンティア〕
 - (4) 課題整理と今後の回収増に向けて
6. 質疑応答
7. 閉会

会議概要：

普及啓発の状況、回収ボックスの設置状況、イベント回収の実施状況、回収状況及び再資源化の状況について報告。また、回収率向上について考察・議論した。



V. 考察

1. 検討する課題に対しての考察

(1) 市民への動機付けと回収量の増

従来、プラスチック、紙などの資源物は最寄りのステーションに決められた日の朝に市民が持っていくという流れであるのに対し、使用済小型電子機器等は回収ボックスに市民が持っていくことと、イベントでの回収実施という新たな回収システムとになる。

そのための動機付けのために、実証事業開始前から、

- ・平成 26 年 12 月 24 日に福島市長による定例記者会見での回収開始の宣言
- ・市政だよりでのアナウンス
- ・福島市のホームページでのアナウンス
- ・回収スタート時とイベント実施時に新聞広告掲載
- ・回収開始当日に開始式を実施したことによる各メディアでの報道

などを通じて積極的な啓発活動を実施した。

これらの広報活動を積極的に実施したことにより、福島市の年間目標回収量である 17t に対して、1 か月間で 12.2t (71.7%) の回収物量となった。

今後も、継続的に市政だよりなどの媒体で資源の回収状況報告やイベント回収実施時のアナウンス等をしていくことで、回収量の増加が見込まれると考えられる。

また、回収ボックスを市内全域（公共施設 27 箇所及び民間商業施設 12 箇所）に設置したことや、土日・夜間も投入できる環境を構築したことにより高齢者等も排出しやすい環境を創出したことなども回収量増に繋がったと考えられる。

(2) 複数市町村の共同回収・引渡しの検討

福島市に隣接する伊達市では、平成 26 年 11 月 4 日から使用済小型電子機器等の回収を開始している。福島市及び伊達市は通勤・通学圏が共通していることから、回収対象品目やその分類を統一して啓発することで市民が混乱しないよう工夫した。

また、回収対象品目を統一することにより、今後の共同回収実施を視野に入れたシステムを構築した。

(3) 市町村の回収品目の拡大検討

イベント回収を実施したことで、ボックスでは回収できない大きなサイズのデスクトップパソコン、モニター、ラジカセ等も回収できるよう工夫し回収品目の拡大を図った。

今後も、定期的にイベント回収を実施し、不法投棄されるおそれがある品目を回収していくことで、地域の課題解決に繋がると考えられる。

(4) 市町村の回収コスト削減や効果的な仕分け・引渡しに関する検討

本実証事業では市内各地に設置した回収ボックスからいったん 2 箇所の集積所に集約してから収集運搬業者に引渡したことで、集積所では再資源化業者指定の回収コンテナを使用したことで物流の効率化を図った。

一方、各回収ボックスから集積所への収集は、当初の計画では月 1 回の実施だったが、回収開始直後ということもあり、投入量も多く、ほぼ毎日福島市職員が収集しに行く結果となった。

今後は回収ボックスから再資源化事業者までの全体での効率的な収集方法を検討していく必要があると考えられる。

また、実証事業期間中に実施したイベントでは、市民の駐車場の利便性の確保のほか、想定を大きく超える回収量となったため、仕分けをするスペースや回収コンテナ、収集運搬車の確保等を考慮する必要があることがわかった。

(5) 退蔵された低品位使用済小型電子機器等の排出促進のための回収方法の検討

低品位使用済小型電子機器等が退蔵される原因としては、処分が有償の場合があること、サイズが大きく重いため、運びにくいことなどが考えられる。

今回の実証事業期間中に実施したイベント回収では、ボックスの投入口に入らないデスクトップパソコンや大きなラジカセも回収することを新聞広告等で呼びかけたことにより、CRTディスプレイや大きなラジカセなど低品位使用済小型電子機器等が多く回収された。

今後も市民への意識向上を狙ったイベントを継続的に開催することで、退蔵された使用済小型電子機器等の排出を促進する必要があると考えられる。

2. その他の考察

(1) 民間商業施設への回収ボックス設置について

スーパー、ホームセンター等の協力を得て多数の回収ボックスを設置することができた。

一方で、設置を打診したものの民間商業施設側から了承を得られなかったところもあり、その見解は以下のとおりとなっている。

- ・店舗の屋内に設置する十分なスペースがない
- ・別ルートで使用済小型電子機器等回収スキームを構築している、または検討している
- ・盗難・紛失等発生時の責任の所在が不明確

また、公共施設と民間商業施設の回収量を一ボックス当たりで平均すると、

公共施設：39.8kg/ボックス

民間商業施設：48.4kg/ボックス

という結果になっていることから、民間商業施設に回収ボックスを設置することで回収量の確保に効果的であると考えられるが、回収データが1か月間のみの実証事業期間のものであることから継続的に回収データの推移を確認していく必要があると考えられる。

(2) 回収方法の拡大検討について

福島市では平成26年7月にピックアップ回収のトライアルを実施したが、処理施設の構造・スペース、仕分けに係るコスト等を考慮し、本実証事業ではボックス回収とイベント回収により回収した。

今後、ピックアップ回収の実施を検討するには、仕分けに係る設備(コンベア等)、十分なスペース、及び人員の確保が必要となる。

(3) 継続的な事業とするための検討事項

市民から継続的に協力を得るためには、市民のリサイクルに対する意識を高めていく必要がある。

そのために、事業で得られた具体的な効果や再資源化の処理方法を積極的に伝えて理解を得ること、さらに継続的な改善を重ねて実施自治体及び市民、再資源化事業者にとって有益となる効率的なシステムを構築していくことで持続可能な事業になると考えられる。

リサイクル適性の表示：印刷用の紙にリサイクルできます

この印刷物は、グリーン購入法に基づく基本方針における「印刷」に係る判断の基準にしたがい、印刷用の紙へのリサイクルに適した材料〔Aランク〕のみを用いて作製しています。